

目次

□巻頭言 農業土木事業の面工事佐野 文彦/1

□昭和 54 年度官公庁の事業概要 (3)

通商産業省電源開発事業の概要小井沢 和明/3

農用地造成における土工計画の新手法後藤 藤光弘/8
田口 高士

圃場整備における機械化施工の問題点斉藤 三哲/15

益田開拓建設事業と機械化施工森田 昌史/20

中小規模コンクリートダムの施工設備広瀬 利雄/29

中里ダムの建設における機械化施工寺沢 久裕/34
佐間 貢史

□随想 合成紙と私のはなし塚原 重美/40

機械掘削の NATM で温泉余土に挑む峯本 守雄/44
飯田 堅允
高田 允温

内径 3,000 mm
泥水加圧式セミシールド工法の施工
——潜水防除事業大坂北部地区排水路工事高内 橋克美/50
小川 義日出明

ロードホールダンプによるずり処理
——関越自動車道関越トンネル水上側工区稲見 悦彦/54
乾小 沼 義仁郎

グラビヤ——関越自動車道関越トンネル水上側工事

人荷共同多目的インクラインの計画と実施
——東京電力中の沢発電所新設工事常野 有史/59
今井 均

□新機種ニュース調査部会/64

□整備技術
アメリカの自家整備工場の実情 (つづき)整備技術部会/68

□ISO 規格紹介
土工機械の運転・整備に関する ISO 標準規格 (4)I S O 部会/71

□支部便り
建設機械優良運転員・整備員の表彰 (東北、北陸、四国)/74

□統計
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移調査部会/76

行事一覧/77

編集後記(西出・松島)/80

◀表紙写真説明▶

920 C 型ロードホールダンプ
三井造船アイムコ株式会社

本機は近年ますます大型化、多様化する我が国トラックレス工法に対応するため三井造船と米國エンバイロテック社との合弁会社である三井造船アイムコが輸入、販売したもので、バケット容量 7.65 m³ (10 yd³)、総重量 42.6 t、エンジン馬力 400 PS/2,100 rpm を有し、現在関越自動車道関越トンネル工事に使用されている。なお、ロードホールダンプ 900 シリーズは、国内の土木、鉱山にすでに 100 余台が納入され、その性能は高く評価されている。

◀900 シリーズの主な仕様▶

型 式	バケット容量 (m ³)	出 力 (PS)	重 量 (t)
911	0.78	52	4.8
912B	1.72	76	9.2
913	2.30	100	12.7
915H	3.82	176	20.0
918	6.50	280	30.4
920 C	7.65	400	42.6